

## 次世代 IT を活用した未来型教育研究開発事業における事業計画書

高山市立 山王小学校

	研 究 内 容
1 年 次	<p>次世代 IT 活用プロジェクトチームを作って研究し、全職員が IT を活用できるようにする。</p> <p>校内のコンピューターの基盤設備における基本となる構想を検討し、本校の IT 活用のための望ましい環境づくりについて研究する。</p> <p>県教育センターより提供された各コンテンツの内容について検討し、本校で利用できるものを選出するとともに、各学年における活用の仕方について素案を検討する。</p> <p>各教師がコンピューターを活用した授業ができるようになるための研修の内容を研究し、実施する。</p>
2 年 次	<p>次世代 IT 活用委員会をつくり、次の点について研究し、全職員が IT 活用のできるようにする。</p> <p>本校の特色ある教育や情報教育において、コンピューターを活用した授業を実施するために必要なコンテンツは何かを検討し、作成する。</p> <p>コンピューターを活用した「わかる授業」・「楽しい授業」を全教師が実践できるよう、活用委員会の委員が中心となって授業公開するなどし、全職員で学びあう機会を作る。</p> <p>「総合的な学習の時間」に子供たちの課題にそって IT の活用を図っていくためには、どのような活用方法や活用内容があるかを研究する。</p>
3 年 次	<p>次世代 IT 活用委員会を中心にして、児童のコンピューター活用能力を高めるための研究をすると共に、各委員会においてコンピューターを活用した学校事務の効率化を研究する。</p> <p>各教科におけるコンピューターを活用した「わかる授業」・「楽しい授業」の在り方を研究し、授業公開や授業研究を行う。</p> <p>児童が活用しやすいコンテンツの研究や開発を行い、教材コンテンツを全県へ発信できるようにする。</p> <p>TV 会議システムを活用し、児童の興味・関心を高めると共に、メールなどで仲間づくりができないか研究する。</p>